



## New App to Care for the Elderly

## 遠くから高齢の家族を見守る安心アプリ

**健康** リストバンド型デバイスと連携して  
1人暮らしの親や祖父母の健康状態をチェック

離れて暮らす高齢の親や祖母のことは何かと心配なもので、そばにいないと、いつの間に助ける手を差し伸べたらいいのかよく分からない。

そんな人のために、うれしいiPhoneアプリが登場した。これさえあれば、遠くからでも愛する家族の健康状態を常時モニタリングできる。

リアシユア・アナリティクスが開発したアプリ「ケア/マインド」は、リストバンド型ウェアラブル端末のフィットビットを医療用モニターに変身させる。フィットビットには、Bluetooth無線経由でスマートフォンやコンピューターと無線接続し、ユーザーの活動量や睡眠パターン、心拍数のデータなどを共有する機能がある。ケア/マインドはこれを応用したものだ。

このアプリを使えば、フィットビットを装着したユーザーの健康状態が悪化した場合に「アラーム」などの通知をほぼリアルタイムで受信できる。こう書くと、心臓病の患者にぴったりな気がするが、リアシユア社はより幅広い高齢者（特に1人暮らしの親や祖父母）のケアに使用してほしいと考えている。

CEOのハンソン・チャンによれば、これまで医療・健康関連のデジタル技術は「比較的若

い層を対象にしてきた」という。だが、若い世代がスマホで自分のカロリー摂取量や心拍数をチェックしてもそれが何の役に立つのか、いまひとつはつきりしなかった。

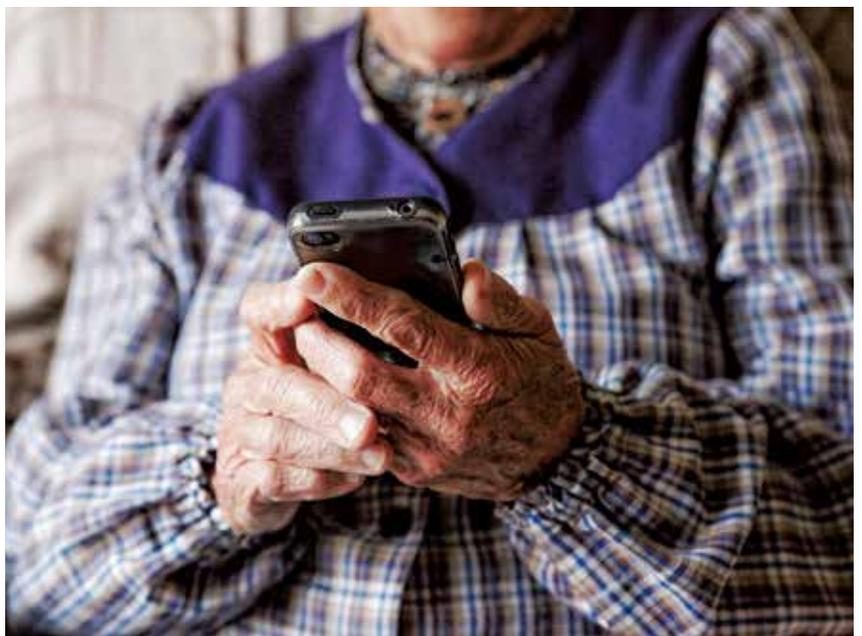
その点、ケア/マインドには高齢者の健康状態についてのデータを取得して共有するという直接的なメリットがある。

こうしたデータ共有には、大きな効果が期待されている。最近では多くの研究機関が、医療用ウェアラブル端末が高齢者に多い骨粗鬆症などの治療に役立つかどうかを調べている。閉経期の女性にフィットビットを使ってもらい、運動量が増えるかどうかを調べた研究もある。

## 糖尿病患者への応用も

ケア/マインドの想定ユーザーは高齢者なので、リアシユア社は開発に際して、できるだけ簡単な使い勝手を重視した。端末にフィットビットを使うことにしたのは、比較的シンプルな機器だったからでもあると、チャンは言う。

アップルウォッチやマイクロソフトバンドは機能が多過ぎて、アプリの使い勝手が悪くなる恐れがあった。一方、余計な機能がないフィットビットなら、ITに強くない高齢者にも抵抗な



簡単 データが自動的に子供のiPhoneに送信されるので、スマホが苦手な高齢者でも安心

く日常的に使ってもらえる。さらに、フィットビットは1回の充電で何日もバッテリーが持つので、装着するのが面倒になる心配も少ない。

長い目で見れば、ケア/マインドのようなアプリはさまざまな医療の分野で役立つ可能性がある。例えば、糖尿病患者の血糖値を常時モニタリングし、その情報を医師と共有することができれば、より自由度の高い治

療法の開発につながるかもしれない。

アメリカではスマホなどを使い、自分の運動量や歩数、心拍数をチェックするクオンティファイド・セルフ(QS)が流行しているが、この「自己の数値化」はただの自己満足にすぎない気もする。だが、ケア/マインドは「他者の数値化」という別の価値を提供してくれる。

ジェイコブ・ローガン

FROM TOP: COURTESY OF REASSURE ANALYTICS, ALBERT MOLON-MOMENT OPEN/GETTY IMAGES